



湖畔で奏でる音楽に

人と自然の姿を乗せて

profile

籠嶋学(写真右) 昭和54年9月23日生まれ。函館市出身。壮警町在住。趣味は料理。
藤河ちあき(同左) 昭和58年10月5日生まれ。伊達市出身。蛇田地区在住。趣味は温泉巡り。

Spotlight

スポットライト



とうや湖観光大使

音楽ユニット ウエル ueru

昨年11月から新たに「とうや湖観光大使」として活動する「ueru」の始まりは20年以上前にありました。

幼少の頃から歌手に憧れていた藤河さん。18歳の時にあるコンテストに出場し、入賞を果たしました。歌の勉強に励むために上京する直前、一通の手紙が届きます。送り主はかつて入賞したコンテストの主催企業でプロデューサーを務めていた籠嶋さんであ

り「デモテープを送ってくれませんか」と書かれていました。上京後も評価してもらえたことが嬉しく、度々手紙を読み返していました。2020年頃、いつまでも昔の栄光にすがってはいけないと、断捨離をした際に手紙も手放しました。

その後、知人をきっかけに籠嶋さんの存在を思い出し、洞爺湖(壮警町)で活動していた籠嶋さんへ「一緒に演奏してみたい」とメールを送り、「20年越しの初めまして」が叶いました。22年10月にueruを結成。湖畔に建てた「TOYA音楽研究所」を拠点としてレコーディングを行い、23年11月に初アルバム「oar(オール)」をリリースしました。「自分たちがオール(権)になって音楽に誘いたい」と願いが込められた一枚には、洞爺湖をイメージした楽曲など全11曲を収録。湖の美しさだけではなく、馴染みの居酒屋など町で暮らす人々の姿も歌い上げました。

町のPRに貢献したいと観光大使に就任し、ライブ活動なども展開中。念願が叶った藤河さんは「歌とギターだけのシンプルな音楽なので、一音ごとの美しさを感じてもらえると思います」と語ります。籠嶋さんは「自然のきれいな場所で暮らすことに憧れていました。これから作る曲でも洞爺湖の良さを広めたいです」と意気込んでいます。「oar」はとうや水の駅などで販売しています。

東奔西走

三 島有紀子監督が手がけた2本の映画の上映会が行われました。作品のテーマも雰囲気も異なる両作ですが、印象的なシーンではどちらも洞爺湖が美しく切り取られており、湖の懐の深さを感じました。(D.Y)

先日、買い物に出かけた帰り道でふと空を見上げると、薄くオレンジ色に染まっていた。時刻は16時を過ぎていて、日が長くなってきていることを感じたと同時に、これから暖くなるのだなと、春が待ち遠しくなりました。(Y.A)

今月のワンショット



しあわせのパン上映会